

交通手段に関するアンケート調査

都市政策課、公共交通課

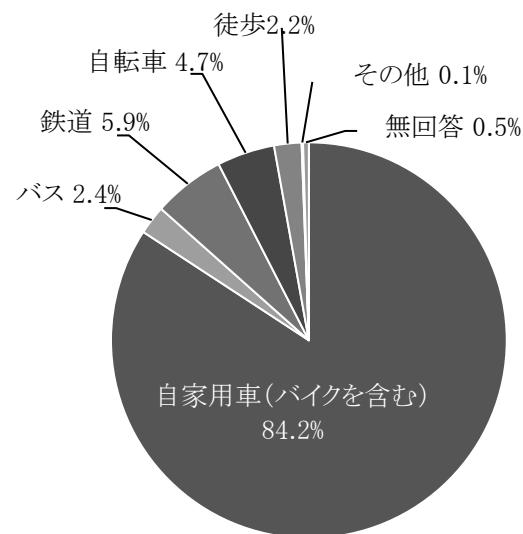
1 調査目的

県民の皆様の交通手段について、現状を把握し、今後の参考とさせていただきましたため、アンケート調査を実施しました。

2 調査結果

問1 あなたが日常生活で最もよく利用する交通手段を教えてください。(1つ)

	人数	割合
自家用車(バイクを含む)	715	84.2%
バス	20	2.4%
鉄道	50	5.9%
自転車	40	4.7%
徒歩	19	2.2%
その他	1	0.1%
無回答	4	0.5%
計	849	100.0%

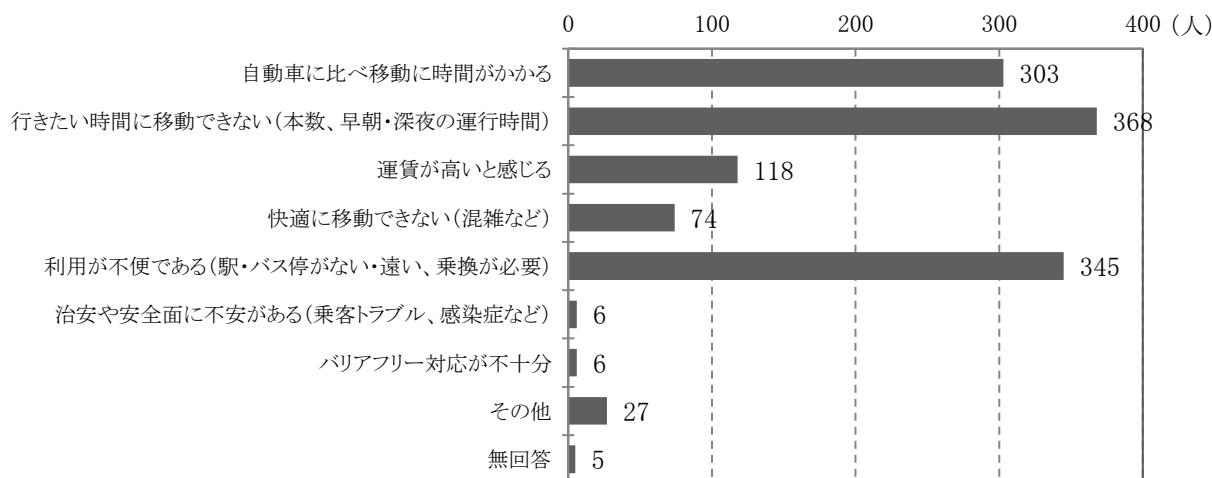


問2 (問1で「1 自家用車(バイクを含む)」と答えた方)

主な交通手段として「バス」や「鉄道」を利用しない理由を教えてください。

(2つまで回答) 回答者 715人

	回答数	割合
自動車に比べ移動に時間がかかる	303	24.2%
行きたい時間に移動できない(本数、早朝・深夜の運行時間)	368	29.4%
運賃が高いと感じる	118	9.4%
快適に移動できない(混雑など)	74	5.9%
利用が不便である(駅・バス停がない・遠い、乗換が必要)	345	27.6%
治安や安全面に不安がある(乗客トラブル、感染症など)	6	0.5%
バリアフリー対応が不十分	6	0.5%
その他	27	2.2%
無回答	5	0.4%
計	1,252	100.0%



問3 (問1で「1 自家用車(バイクを含む)」と答えた方)

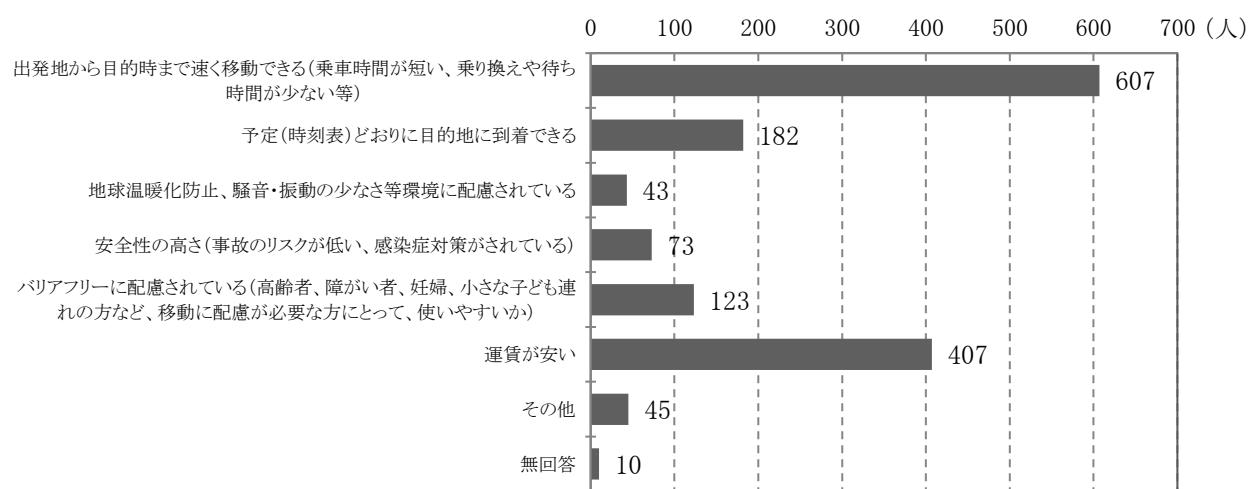
今後、便利な公共交通が整備されれば自家用車(バイクを含む)から交通手段を変更しますか。回答者 715人

	人数	割合
はい	342	47.8%
いいえ	369	51.6%
無回答	4	0.6%
計	715	100.0%

問4 あなたが公共交通をさらに使いたくなるために、どのような機能を求めますか。

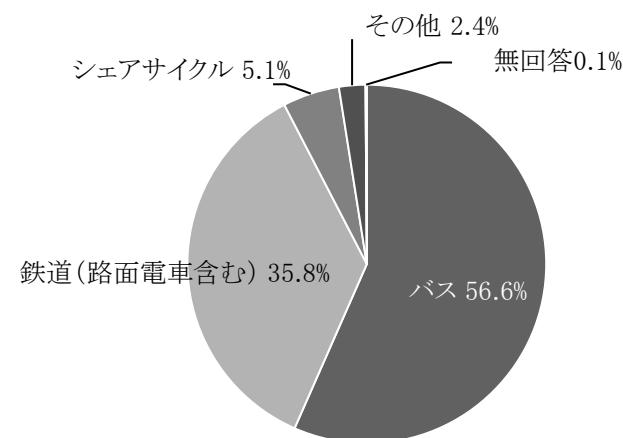
(2つまで回答) 回答者 849人

	回答数	割合
出発地から目的時まで速く移動できる(乗車時間が短い、乗り換えや待ち時間が少ない等)	607	40.7%
予定(時刻表)どおりに目的地に到着できる	182	12.2%
地球温暖化防止、騒音・振動の少なさ等環境に配慮されている	43	2.9%
安全性の高さ(事故のリスクが低い、感染症対策がされている)	73	4.9%
バリアフリーに配慮されている(高齢者、障がい者、妊婦、小さな子ども連れの方など、移動に配慮が必要な方にとって、使いやすいか)	123	8.3%
運賃が安い	407	27.3%
その他	45	3.0%
無回答	10	0.7%
計	1,490	100.0%



問5 あなたが最も整備(便数、路線の増強含む)を望む交通手段を一つ教えてください。

	人数	割合
バス	476	56.6%
鉄道(路面電車含む)	301	35.8%
シェアサイクル	43	5.1%
その他	20	2.4%
無回答	1	0.1%
計	841	100.0%



問6 交通手段についてご意見・ご要望・ご感想などございましたら、お聞かせください。

【主な意見】 全 288 件

- ・岐阜市街地在住なので、普段は徒歩、自転車、バスで簡単に移動ができますが、郊外に用事がある時には不便を感じるので、どうしても自家用車を利用てしまいます。
- ・今のバスは、道路状況もあって仕方ないとは思いますが、時間通りにほぼこなくて、その為に、どんどん混雑してしまって、弱者には座ることすら困難な時もあります。
- ・高齢者がある程度の年齢になったら進んで運転免許証の返納ができるような交通手段の環境整備が必要
- ・自動運転バスやコミュニティバスを利用させていただきました。安く利用しやすいメリットがある一方、目的地まで乗り継ぎが難しいのがデメリットかなと思いました。路面電車は観光資源にもなるのかなと思いました。
- ・シェアサイクルステーションの増加を希望します。岐阜駅から川原町あたりまでの区間のシェアサイクル需要は多いと考えますので、増強をお願いします。
- ・最寄り駅まで遠い事は仕方のない事です。駅の駐車料金が安くなれば、もっと利用すると思います。
- ・子連れで移動するには、車が便利で自家用車で移動していますが鉄道がもっと整備されれば、鉄道移動も視野に入れれるなと思いました。
- ・自家用車に利便性では勝てないので、観光鉄道などが盛り上がると、地域路線を守ることにもつなげられるのではと思います。
- ・路面電車廃止は、市の資産価値が減っただけで、失策だった。鉄道施設は資産価値をあげる。産業、雇用、人口の増加につながる。
- ・以前のような路面電車の復活を望みます。老若男女が利用活用する場所を円で結び、その他の地域からは、いくつかの主要駅を決め、バスで結ぶ。路面電車とバスの役割を分けて効率化を図る。「路面電車のある街」にしてほしい。
- ・都市部がコンパクトシティ化されるなど、公共交通機関が利用しやすい環境になる事を期待しています。
- ・運行本数の増加や、ライドシェアなど柔軟な運行体制の確立が必要。行きたい場所に、行きたい時間にいけることが一番重要かと思います。
- ・近年自動車が一番楽です。家から目的地に駐車場さえ有れば時間や天候など気軽に移動できるからです。でも年老いたら公共の乗り物に頼る事になると思うので住み良い岐阜になるといいと思います。
- ・自動車の利便性に満足しているので、無くす選択はないです。但し、自転車の活用は考えるべきだと思います。ヨーロッパにある様な自転車専用道があると利用者が多くなるのではと思います。
- ・バスは本数も多く便利だと思います。ただ時間がずれることもあるので、そこは不便を感じています。自家用車も多い中でのバスの運行ですが、公共交通機関として時間もなるべくずれずに乗れるとより便利になると感じます。
- ・子どもがバスを利用しているが、とにかく運賃も高く時間通りは来ないというイメージしかない。高齢者の免許返上の特典として乗りやすい条件が増えれば、車も減るのではないかと思う。岐阜は車がないと不便。
- ・公共交通機関を利用したいが、乗り場まで遠いので車になってしまいます。
- ・車中心の街づくりから歩行者中心の街づくりへの転換。市町村が展開している地域コミュニティバスを行政区を越えて連携して運行できるよう支援。公共交通利用促進のアピール。